

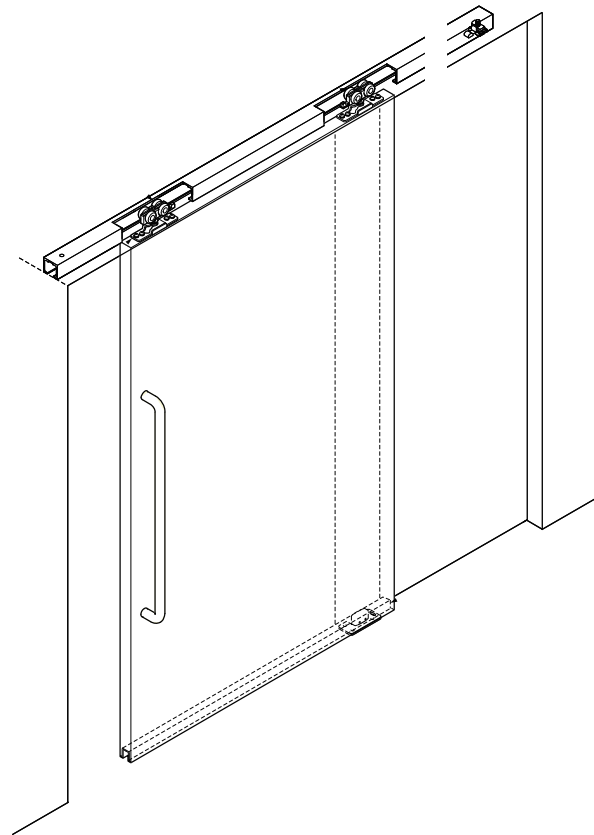
このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 屋内用の上吊式引戸金物です。
- 工具を使わずに扉をワンアクションで吊り込むことができます。

仕様

扉高さ	2400 mm 以下	2401 ~ 2700 mm
扉幅	774 ~ 1500 mm	800 ~ 1500 mm
扉厚	30 mm 以上	
扉質量 (1 枚当り)	50 kg 以下	
扉上下調整範囲	上方向に 4 mm、下方向に 4 mm	



正しく安全に施工していただくために

図記号の意味

警告 注意	禁止	厳守
----------	----	----

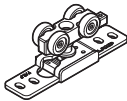
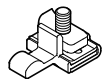
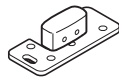
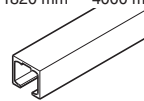
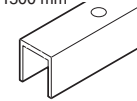

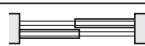

警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

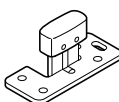

- ❶ 本製品の施工は、知識、経験のある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ❶ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐える強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- ⓪ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⓪ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- ❶ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❶ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❶ 本製品は建具を構成する為の部品です。施工後に、最終製品としての機能及び安全性をご確認ください。また、使用者へ建具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ❶ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから 1 ヶ月後と 6 ヶ月後、その後は 1 年ごとを目安にしてください）。

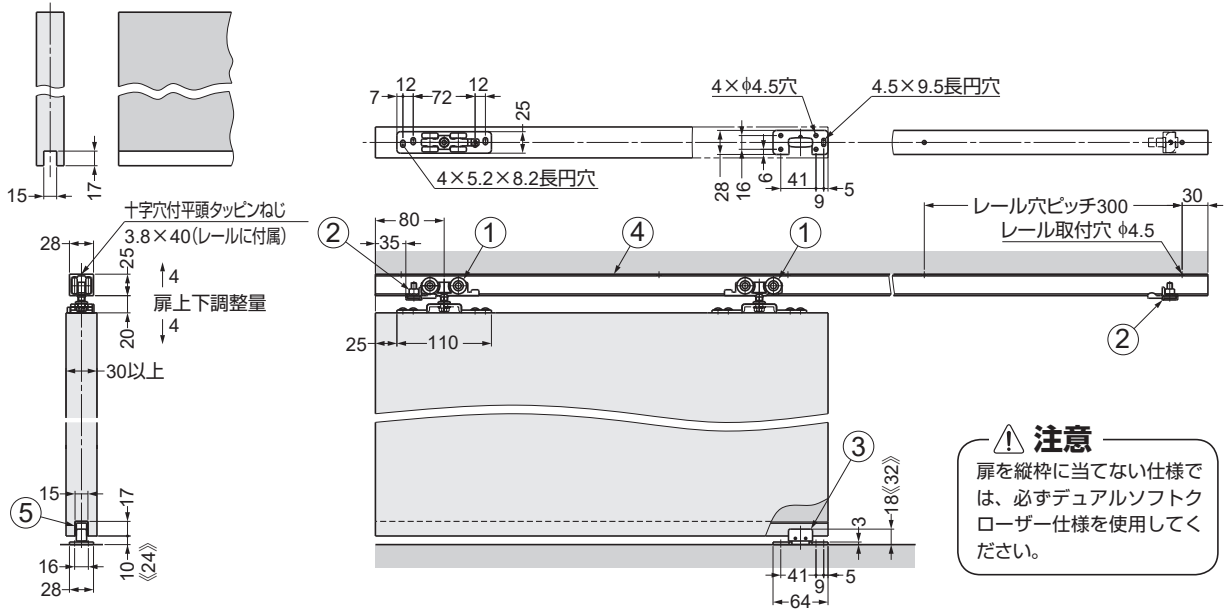
部品一覧

No.	①	②	③	④	⑤
品名	上ローラー (面付用)	ストッパー	下ガイドS	上レール	扉下側埋込み ガイドレール
品番	FD50-WRM	FD50-HTST	FD50-BG18	FD50-TRM 型	FD30-HBRT1500SIL
部品	 付属: 十字穴付なべタッピンねじ 4x45 4ヶ	 付属: 十字穴付なべタッピンねじ 4x16 5ヶ	 付属: 十字穴付なべタッピンねじ 4x16 5ヶ	1820 mm ~ 4000 mm  穴ピッチ: 300 mm ピッチエンド: 30 mm 付属: 十字穴付平頭タッピンねじ 3.8x40	1500 mm  穴ピッチ: 250 mm ピッチエンド: 30 mm 推奨ねじ: 十字穴付皿タッピンねじ 4x20
片引き戸	 2ヶ	2ヶ	1ヶ	1本	1本
引き違い戸	 4ヶ	4ヶ	2ヶ	2本	2本
引分け戸	 4ヶ	4ヶ	2ヶ	1本	2本

オプション	No.	⑥	⑦
	品名	下ガイドL	スパナ
	品番	FD50-BG32	FD30-FSP
部品	 付属: 十字穴付なべタッピンねじ 4x16 5ヶ		

寸法図

扉の加工寸法



注意
扉を縦枠に当てない仕様では、必ずデュアルソフトクローザー仕様を使用してください。

《 》 寸法は、オプションの下ガイドL⑥を使う場合の寸法です。

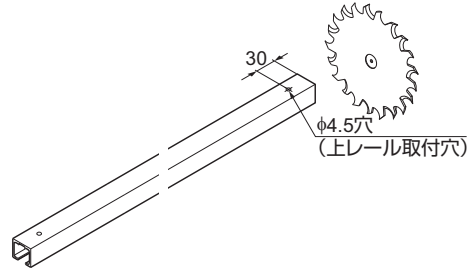
取付手順

(本書では片引き戸を例に説明しています。)

1 取付前の準備、取付け

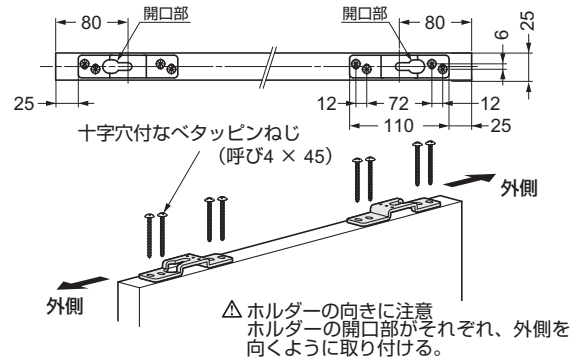
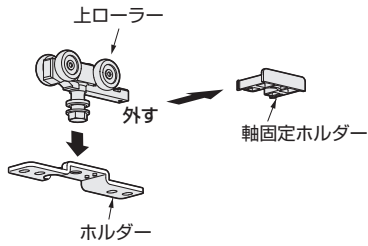
1. 上レールの切断
切断、穴加工は右図を参照。

- 注意**
- ① 上レールが変形しないよう、補強材などを入れて切断してください。
 - ② 上レール内のごみやアルミの切粉などは、きれいに取り除いてください。



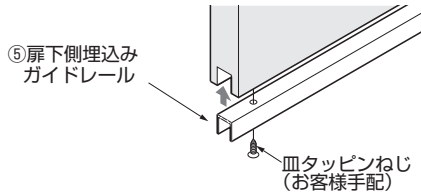
2. 部品の組み込み準備

上ローラーのホルダーと軸固定ホルダーを外す。
右図を参考にして、上ローラーのホルダーを、付属の取付ねじで固定する。



3. 扉下側埋込みガイドレールの取付け

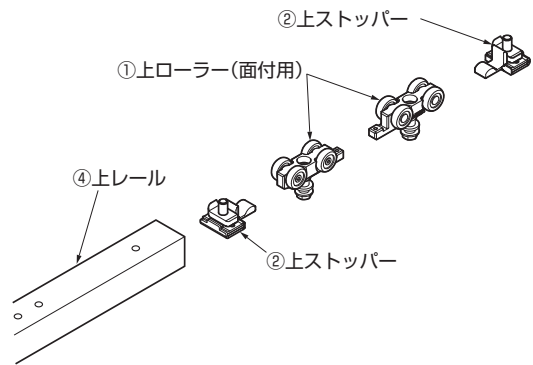
扉下側埋込みガイドレールを扉幅と同じ長さに切断し、皿タップピンねじ 4 × 20 (お客様手配) で取り付ける。



4. 部品の組み込み、上レールの取付け

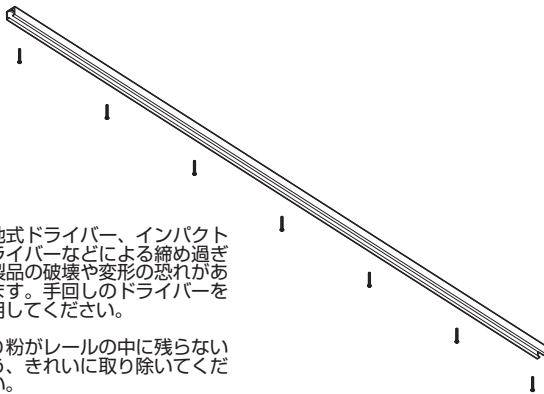
部品の向きに注意して、ストッパー、上ローラー、ストッパーの順に組み込む。組み込んだ部品が落ちないようにストッパーを仮止めし、上レールを取り付ける。

△上レール内のごみやアルミの切粉などは、きれいに取り除いてください。



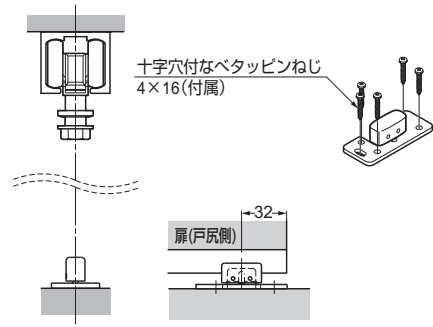
5. レールの取付け

上レールを付属の十字穴付平頭タップピンねじ 3.8 × 40 で、上枠に固定する。



6. 下ガイドの取付け

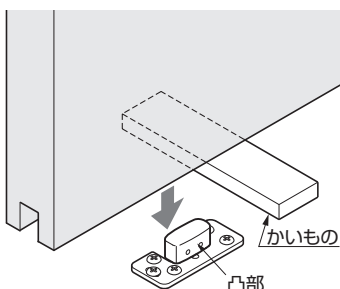
上レールの中心から真下に下ガイドの中心を合わせる。扉を閉じた状態で、下ガイドの凸部が扉から外れない位置となるよう調整し、付属ねじで取り付ける。



2 扉の吊込み、調整

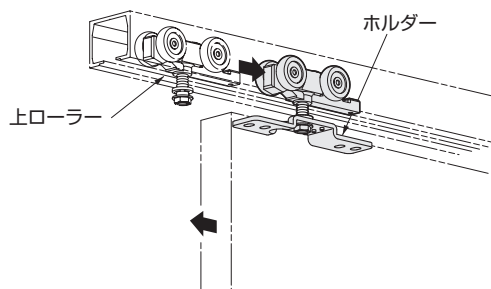
[1] 扉の吊込み (扉下部)

扉の下に 10mm のかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。



[2] 扉の吊込み (扉上部)

上ローラーを、扉に付いたホルダーへ横から差し込む。

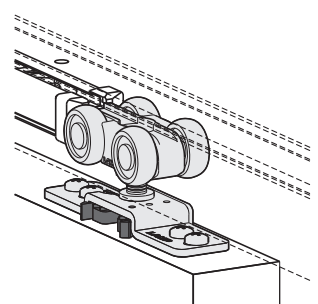
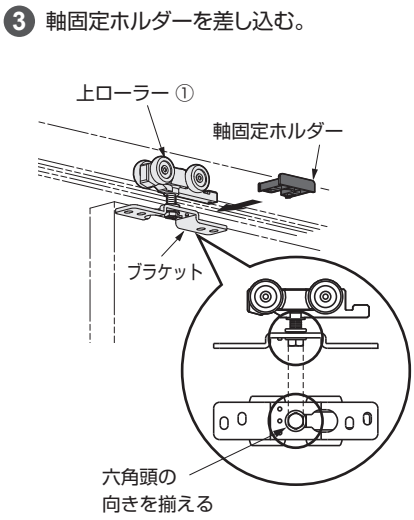
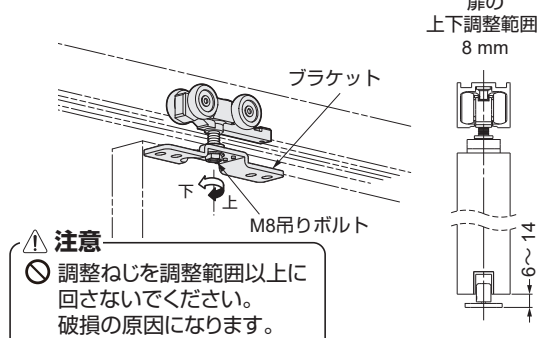


[3] 扉の高さ調整

① 扉の下から 10 mm のかいものを外す。

② 扉が上レールと平行で床面とのすき間が 6 ~ 14 mm になるように調整する。

④ 軸固定ホルダーの爪部がブラケットに引っかかっていることを確認する。

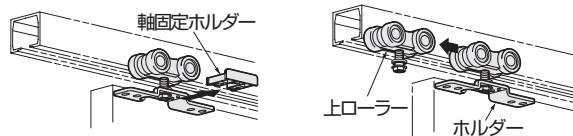
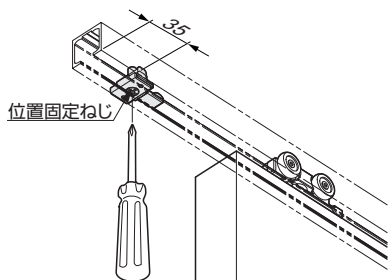


[4] ストッパーの固定

- 扉の閉止位置（扉が枠に当たる位置）で固定する。
レール内の上ローラーが、ストッパーに当たるようにストッパーの取付位置を調整し、位置固定ねじを十字ねじ回し 2 番で締結する。
- 扉の開位置も、同様にストッパーの位置固定を行う。

■扉を外す場合

- 扉の下にかいものを外す。
- 軸固定ホルダーを外す。
- 上ローラーを扉に付いたホルダーから外す。



(4) 下ガイドから扉を外す。

定期点検	<ul style="list-style-type: none"> レール内を掃除してください。 扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整してください。
-------------	---

■困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉の開閉時に異音が発生する	レール内やローラーにごみやアルミの切粉が付着または、刺さっていませんか。	一旦レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取除いてください。
	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
扉の開閉が重い	扉に反りが発生していませんか。	反りのない扉をご使用ください。
扉が開閉しない	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
勝手に扉が開閉してしまう	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して水平になるように、上レールを付け直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2022.08 0594-6